

2017年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

FD委員会

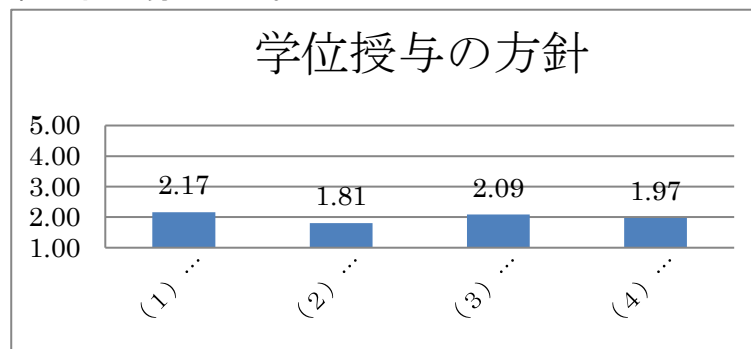
マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻	検証の結果
産業福祉マネジメント学科	<p>学位授与の方針</p> <p>各設問について、(1)知識・技能について、「1.企業の経済活動ならびに地域共創について考え説明することができない」、「2.興味をもって調べたりするが、うまく説明できない」、「3.一定の知識にもとづき、自らの興味の範囲では説明することができる」、「4.一定の知識をもとに、現状と課題について討議できる」、「5.専門知識をもとに現状と課題について討議でき、かつ論述することができる」から構成されている。</p> <p>(2)プレゼンテーション力については、「1.プレゼンスキルを身につけていない」、「2.プレゼンスキルを身につける努力はしている」、「3.主だった、プレゼンスキルは身につけている」、「4.状況と要望に適合したプレゼンスキルを選択することができる」、「5.プレゼンスキルを活用して、有効なコミュニケーションを図ることができる」である。</p> <p>(3)課題解決力については、「1.知識を習得しようとする意欲がない、マネジメントサイクルで考える習慣がない」、「2.知識を習得することならびにマネジメントサイクルで考える努力をしている」、「3.一定の知識に基づき、問題を把握している」、「4.専門的な知識をもとに、現状と課題について理解し基本的な説明ができる」、「5.問題把握と解決策を具体的に考えることができる」である。</p> <p>(4)キャリア観では、「1.キャリア展望を考える必要性に気づいていない」、「2.キャリア展望の必要性には気づいているが、説明できない」、「3.キャリア展望について説明することができる」、「4.キャリア展望を特定の業界・企業の動向を踏まえた上で説明することができる」、「5.キャリア展望について、経済情勢ならびに業界・企業の動向を踏まえた説明ができる。」である。</p> <p>得点化した平均値の結果が下記の図である。基準点は2点なので、1年時修了時点の到達点として、「できない」ならびに「努力をしている」というレベルにとどまることが明らかになった。この結果を学科として共有し、引き続きゼミ単位のルーブリック評価を実施しながら、到達水</p>

準の向上に努めていく。



なお、自由記述では、プレゼンテーション、コミュニケーションを課題にあげる学生が多く、1年時の修了時において十分ではないと考えている学生が多い。